

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(2枚のうち1枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	<input type="checkbox"/> 一般 ・ <input type="checkbox"/> 外国人 ・ <input type="checkbox"/> 社会人
試験科目	地域社会学		

【基礎】

問題1・以下の5つの用語の意味を説明してください。

- (1) 社会的実験室としての都市
- (2) フードデザート問題
- (3) グローバル・シティ
- (4) コミュニティユニオン
- (5) 正常人口の正常生活

【専門】

問題2 以下の問いに解答してください。

- (1) 表を参照しながら、イギリスの社会学者、ピーター・タウンゼントが1979年の著作 *Poverty in the United Kingdom* で提示した「相対的剥奪」の概念について説明しなさい。
- (2) 貧困に対するタウンゼントのアプローチに見られる問題を、いくつか指摘しなさい。
- (3) 貧困研究におけるタウンゼントの仕事の現代的な意義について述べなさい。

出典：山本努編著，2022，『よくわかる地域社会学』ミネルヴァ書房，196頁。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(2枚のうち1枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	地域社会学		

【基礎】

問題1 以下の5つの用語の意味を説明してください。

- (1) 社会的実験室としての都市
- (2) フードデザート問題
- (3) グローバル・シティ
- (4) コミュニティユニオン
- (5) 正常人口の正常生活

【専門】

問題 2 以下の問いに解答してください。

- (1) 表を参照しながら、イギリスの社会学者、ピーター・タウンゼントが 1979 年の著作 *Poverty in the United Kingdom* で提示した「相対的剥奪」の概念について説明しなさい。
- (2) 貧困に対するタウンゼントのアプローチに見られる問題を、いくつか指摘しなさい。
- (3) 貧困研究におけるタウンゼントの仕事の現代的な意義について述べなさい。

表 タウンゼントの剥奪指標 (deprivation index), 1968/69 年, イギリス全国調査

剥奪指標	該当者の%
1. この 12 ヶ月, 家を離れて 1 週間の休暇を過ごすことがなかった。	53.6
2. (大人のみ) この 4 週間, 親戚や友人を食事や軽食に家に招くことがなかった。	33.4
3. (大人のみ) この 4 週間, 食事や軽食に親戚や友人のところに出かけることがなかった。	45.1
4. (15 歳未満の子どものみ) この 4 週間, 友達を遊びやお茶に招くことがなかった。	36.3
5. (子どものみ) この前の誕生日に誕生日パーティーをしなかった。	56.6
6. この 2 週間, 午後や夕方に娯楽のために外出することがなかった。	47.0
7. 1 週間に 4 日間ほど多くは生鮮食品の肉を食べない (外食を含む)。	19.3
8. この 2 週間のうち 1 日以上, 調理された食事をとらずに過ごした。	7.0
9. 1 週間のうちのほとんどの日は, 調理された朝食をとらなかった。	67.3
10. 世帯に冷蔵庫がない。	45.1
11. 世帯は普段, 日曜日に肉のローストを食べない (4 回のうち 3 回食べない)。	25.9
12. 世帯が単独では以下の 4 つの設備を室内で使用していない (水栓トイレ, 流し台か洗面台と水の蛇口, 備え付けの浴槽かシャワー, ガスか電気の調理器)。	21.4

注: 複数回答。

出典: 山本努編著, 2022, 『よくわかる地域社会学』ミネルヴァ書房, 196 頁。

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 一般・外国人

科目名 地域社会学

解答例又は出題意図

【基礎】

問題1 以下の5つの用語の意味を説明してください。

- (1) 社会的実験室としての都市
- (2) フードデザート問題
- (3) グローバル・シティ
- (4) コミュニティユニオン
- (5) 正常人口の正常生活

出題意図：

テキストの内容を理解し、地域社会学の基礎的な知識を身に着けているかを確認するために出題している。

【専門】

問題2 以下の問いに解答してください。

- (1) 表を参照しながら、イギリスの社会学者、ピーター・タウンゼントが1979年の著作 *Poverty in the United Kingdom* で提示した「相対的剥奪」の概念について説明しなさい。
- (2) 貧困に対するタウンゼントのアプローチに見られる問題を、いくつか指摘しなさい。
- (3) 貧困研究におけるタウンゼントの仕事の現代的な意義について述べなさい。

出題意図：

地域社会における大きな問題の一つとして、排除と貧困に関する重要な知識が十分に理解されているか、またそれらに対する批判的考察力があるか、そしてそれらの概念を出発点として研究をより展開していく発想力を有しているかどうかを測るために出題している。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	一般・○外国人・社会
試験科目	福祉・医療社会学		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題1 次の①と②の両方に解答しなさい。

①資源供給のモデルとしての「残余モデル」と「制度モデル」について、具体的事象をあげながら説明しなさい。

②「特定病因論」と「確率論的病因論」について、適切な例をあげながら説明しなさい。

【専門】

問題2

医療における専門職支配について、エリオット・フリードソンの議論を紹介しながら、その内容、言及されるようになった背景、具体的な現象について述べた上で、その意義と課題を、今日の医療を取り巻く現状をふまえて論じなさい。

解答上の注意点(基礎・専門とも)

※関連する用語を適切に選択・使用し説明すること。

※具体的事象や適切な例を挙げ、できる限り詳細に説明すること。

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 外国人留学生

科目名 福祉・医療社会学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1 【基礎問題】

①資源供給のモデルとしての「残余モデル」と「制度モデル」について、具体的事象を挙げながら説明しなさい。

②「特定病因論」と「確率論的病因論」について、適切な例をあげながら説明しなさい。

<出題意図>

・指定テキストに沿って概念を正確に理解し、定義に必要なキーワードを使用して正確に記述する能力、適切な具体的事象や例を挙げて説明する能力を試すことで、専門的領域の基礎的素養を評価する。

問題 2 【専門問題】

医療における専門職支配について、エリオット・フリードソンの議論を紹介しながら、その内容、言及されるようになった背景、具体的な現象について述べた上で、その意義と課題を、現代の医療を取り巻く状況ふまえて論じなさい。

<出題意図>

・指定テキストに基づいて、内容説明に必要な概念を正確に理解し説明する能力とともに、時代背景や具体的現象との関連づけや、概念の提起の意義と課題を説明する展開力・応用力を試すことで、専門的研究に取り組む能力を評価する。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1枚のうち 1枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	外国人
試験科目	社会保障論		

【基礎】

問題1

- (1). ①地域包括ケアシステムについて説明をしたうえで、その四つの費用区分の考え方である、②自助、③互助、④共助、⑤公助のそれぞれについて説明しなさい。
- (2). 8050問題について具体的事象を挙げながら説明しなさい。

【専門】

問題2 ヤングケアラー(子どもケアラー)について、(1). 定義、(2). 具体的なケアの内容と日本での状況、(3). 子どもへの影響、(4). 国等による支援策について、それぞれ述べなさい。

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 外国人

科目名 社会保障論

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

出題意図：地域包括ケアシステムと介護問題に関する基本的知識の理解を問う。

解答例：

(1) ①地域包括ケアシステムは、住み慣れた場所や地域で、要介護状態であっても、最後まで自分らしく過ごすことができることを目指す、住まい・医療・介護・予防・生活支援の総合的な支援システムである。

②自助は、自らの負担である。健康管理を含め、自分のことは自分です。また、家事代行、配食その他、さまざまな民間のサービスを自費で購入することも含まれる。

③互助は、自発的に相互に支え合っていることを意味する。近隣の住民同士による助け合い、ボランティアやNPOなどによる支援など、インフォーマルなサービスを活用する。

④共助は、医療保険や介護保険などの社会保険を意味する。被保険者から徴収された保険料により提供されるサービスを利用する。

⑤公助は、税による公負担である。税財源による高齢者福祉（公衆衛生を含む）、生活保護、障害者福祉、人権擁護、虐待対策などが該当する。

(2) 8050 問題は、80 代のような高齢の親がひきこもりまたは無職の状態にある 50 代のような中年の子どもと同居していることに由来する複合的な問題である。具体的には、精神疾患や障害への対応を含んだひきこもりの支援、社会的孤立、経済的困難、親の介護サービスの利用困難、虐待、そして、高齢の親が亡くなった後の子どもの生活支援などの問題が複合化されている。

参考

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集，2021，『最新 社会福祉士養成講座 2 高齢者福祉』中央法規。

地域包括ケア研究会，2013，『地域包括ケアシステムにおける今後の検討のための論点』三菱UFJ リサーチ&コンサルティング。 http://www.murc.jp/uploads/2013/04/koukai130423_01.pdf

問題 2

出題意図：介護に関する政策的な課題についての理解をみる。

(1). ヤングケアラー（子どもケアラー）の定義

国によって定義は異なるが、一般社団法人日本ケアラー連盟による定義によれば、「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものこと。」である。

(2). 具体的なケアの内容と日本での状況

具体的には、障がいや病気のある家族に代わり以下の様なケアを担っている。

- ・家事（料理や洗濯、掃除など）
- ・一般的なケア（着替えや移動の介助など）
- ・情緒面のサポート（見守り、声かけ、励ましなど）
- ・身辺ケア（入浴やトイレの介助）
- ・医療的なケア（投薬管理など）
- ・きょうだいの世話（見守り）
- ・その他（金銭の管理、通院の付添い、家計を支えるための労働、家族のための通訳など）

2020年度の文部科学省の調査によれば、中学生の5.7%、およそ17人に1人、全日制の高校生で4.1%、およそ24人に1人という結果がでている。世話にかけている時間は、平日1日の平均で中学生が4時間、高校生が3.8時間。中には7時間以上と答えた生徒もいる。

(3). 子どもへの影響

- ・学校生活への影響（遅刻、欠席、学習など）、友人関係への影響、就職への影響
- ・ケアの負担から生じる精神的・肉体的不調

(4). 国等による支援策

国はヤングケアラーに対して、早期把握、相談機能、家事・育児支援、介護サービスの提供に努める他、いくつかの自治体では個別に条例を定め支援を行っている。

参考. 一般社団法人日本ケアラー連盟 HP <https://carersjapan.com/> (2024.1.16 参照)

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(1枚のうち 1枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	外国人
試験科目	社会福祉学		

【基礎】

問題1 次の語句の内容及び関連する事柄について説明しなさい。

- (1) アンペイドワーク(unpaid work)
- (2) 医療化(medicalization)
- (3) 核家族(nuclear family)
- (4) 感情労働(emotional labor)
- (5) ジニ係数(Gini coefficient)

【専門】

問題2 高齢障がい者の「65歳の壁」に関する内容について、次のキーワードをすべて使い説明しなさい。

キーワード: 障害者総合支援法、介護保険法、応能負担、応益負担

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 外国人

科目名 社会福祉学

解答例又は出題意図

問題 1 出題意図：社会福祉・社会保障に関する基本的な知識と理解についてみる。

(1) 賃金や報酬が支払われない労働、無償労働であることが理解出来ていること。

近代社会の基盤を成す価値観や世界観を問い直す概念であることが理解出来ていること。

(2) 日常生活の問題が医療問題として規定されることを理解出来ていること。

医療専門職の患者に対する統制とした定義がなされていることを理解出来ていること。

(3) 家族の形態に関する分類概念の一つであることが理解出来ていること。

夫婦とその子どものみからなる家族形態であることを理解出来ていること。

(4) 顧客の適切な精神状態を作り出すために、職務に応じた感情の維持と表現を行うことが要求される労働であることを理解出来ていること。

接客業や対人サービス業等に代表されるように、感情の商品化を前提とした感情労働が現代社会において一般化されていることが理解できていること。

(5) 所得や資産などの分布の不平等度を示す指数であることが理解出来ていること。

所得が全員に均等配分されているときに値が 0 となり、より不平等な分配ほど 1 に近づくことが理解出来ていること。

問題 2 出題意図：社会福祉についての基本的な知識と理解及び、文章構成能力についてみる。

以下の点について理解が出来ていること。

・ 20 歳から 64 歳までの障害福祉サービスは障害者総合支援法によってサービスが提供されていること。

・ 障害者総合支援法は、障害のある人が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援が提供されていること。

・ 65 歳になると、介護保険を優先するとした規定（障害者総合支援法第 7 条）があるため、介護保険法が障害者総合支援法に優先して使用されることが原則となっていること。

・介護保険法と障害者総合支援法は、法律の目的が異なるため、障害者福祉分野で認められていたサービスと高齢者福祉分野で認められるサービスの量に違いがあること。それにより高齢障害者の生活に支障がでる可能性があること。

・自己負担に関する規定が、障害者福祉分野では所得能力に応じた応能負担であるのに対し、高齢者福祉分野では、サービスの利用に応じた応益負担であるため、障害が重く、サービスを多く必要とする障害者ほど負担が重くなること。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	コミュニティ・デザイン論		

【基礎】

問題1 以下のすべての用語の定義や意味について説明しなさい。

- (1) 参加のデザイン
- (2) ワークショップ
- (3) まち歩き／タウンウォッチング
- (4) 新しい公共
- (5) 環境的不公正

【専門】

問題2 コミュニティ・デザインの取り組みにおけるプロセス・デザインは、①動き出す(問題提起)、②目標を設定する、③動きを広げる(人々との共有)、④具体的に落とし込む(チーム活動の向上)、⑤バトンを渡す、の5段階に分けられる。それぞれの具体的な内容を挙げながら、まちづくりのプロセスについて説明しなさい。

専攻名 地域創造学 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 コミュニティ・デザイン論

解答例又は出題意図

問題1 以下のすべての用語の定義や意味について説明しなさい。

- (1) 参加のデザイン(参考:山崎義人・清野隆ほか『はじめてのまちづくり学』, 学芸出版社, pp.62)
- (2) ワークショップ(参考:山崎義人・清野隆ほか『はじめてのまちづくり学』, 学芸出版社, pp.63)
- (3) まち歩き／タウンウォッチング(参考:山崎義人・清野隆ほか『はじめてのまちづくり学』, 学芸出版社, pp.74)
- (4) 新しい公共(参考:山崎義人・清野隆ほか『はじめてのまちづくり学』, 学芸出版社, pp. 45-46)
- (5) 環境的不公正(参考:ランドルフ・T.ヘスター／土肥真人『まちづくりの方法と技術 コミュニティ・デザイン・プライマー』, 現代企画, pp.9-13)

<出題意図>

コミュニティ・デザインにおける基礎的な専門用語として、「参加のデザイン」、「新しい公共」、「環境的不公正」の3つを取り上げる。これらはコミュニティ・デザインの理論についての理解を確認するものである。また、コミュニティ・デザインの手法として、「ワークショップ」、「まち歩き／タウンウォッチング」の2つを取り上げる。これらは、コミュニティ・デザインの具体的な内容の理解について確認するものである。

【専門】

問題2 コミュニティ・デザインの取り組みにおけるプロセス・デザインは、①動き出す(問題提起)、②目標を設定する、③動きを広げる(人々との共有)、④具体的に落とし込む(チーム活動の向上)、⑤バトンを渡す、の5段階に分けられる。それぞれの具体的な内容を挙げながら、まちづくりのプロセスについて説明しなさい。

<出題意図>

コミュニティ・デザインにおいて重要となるプロセスデザインについての理解を問うものである。まちを知り問題を把握し住民とチームを作る段階①、データや計画を調べ調査しマッピングする段階②、シミュレーションや将来像やシナリオづくりから人々との共有を広める段階③、体制づくりやルールづくりや拠点づくりを行う段階④、まちづくり活動を持続的に行うための組織の安定化を図る段階⑤、についてそれぞれ具体的に述べられているかを確認する。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	地域経営論		

【基礎】

問題 1 以下のすべての用語の定義や意味について説明しなさい。

- (1) 観光資源の評価
- (2) マスツーリズム
- (3) 観光と文化
- (4) 地方自治体と観光行政
- (5) 聖性(Randolph T. Hester, “Design for Ecological Democracy” における定義や意味)

【専門】

問題 2 関係人口による地域経営について、以下のキーワードをすべて用いて、これまでの学術的な論点を整理しつつ、その特性及び、可能性と課題についてあなたの考えを論じなさい。

キーワード:よそ者、地域資源、関係人口の種類、交流人口、定住人口

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	地域経営論		

【基礎】

問題1 以下のすべての用語の定義や意味について説明しなさい。

- (1) 観光資源の評価
- (2) マスツーリズム
- (3) 観光と文化
- (4) 地方自治体と観光行政
- (5) 聖性(Randolph T. Hester, “Design for Ecological Democracy” における定義や意味)

【専門】

問題2 関係人口による地域経営について、以下のキーワードをすべて用いて、これまでの学術的な論点を整理しつつ、その特性及び、可能性と課題についてあなたの考えを論じなさい。

キーワード:よそ者、地域資源、関係人口の種類、交流人口、定住人口

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 地域経営論

解答例又は出題意図

問題 1 以下のすべての用語の定義や意味について説明しなさい。

- (1) 観光資源の評価（参考：白坂蕃・稲垣勉他編『観光の辞典』、朝倉書店、pp.236-237）
- (2) マスツーリズム（参考：山下晋司編『観光学キーワード』、有斐閣、pp.46-47）
- (3) 観光と文化（参考：山下晋司編『観光学キーワード』、有斐閣、pp.170-171）
- (4) 地方自治体と観光行政（参考：山下晋司編『観光学キーワード』、有斐閣、pp.152-153）
- (5) 聖性（参考：Randolph T. Hester, Design for Ecological Democracy、pp.117-135）

<出題意図>

出題意図については、地域経営及び、観光まちづくりの分野における基礎的な専門用語を確認するものである。

問題 2 関係人口による地域経営について、以下のキーワードをすべて用いて、これまでの学術的な論点を整理しつつ、その特性及び、可能性と課題についてあなたの考えを論じなさい。

キーワード:よそ者、地域資源、関係人口の類型、交流人口、定住人口

<出題意図>

関係人口による地域経営について、学術的または展開事例を説明することができ、自身の考えの主張の根拠を客観的に示しつつ、具体的に述べられているのか問うものである。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1枚のうち 1枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	外国人
試験科目	地域居住論		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題1 以下の8個の用語から4個を選択し、その意味を説明しなさい。

回答の順番は問わないが、どの語を選択したのかが分かるように回答すること。

- (1) 景観条例
- (2) 登録文化財制度
- (3) 未接道
- (4) 地域地区と用途地域
- (5) 区域区分
- (6) 建ぺい率と容積率
- (7) 都市計画道路
- (8) 土地区画整理事業

【専門】

問題2 近代都市計画が果たした役割とその課題について、これまでの学術的な論点をもとに具体的な地域を挙げて説明せよ。また、課題の解決に向けた今後の都市計画の可能性について自身の見解を述べよ。

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 外国人

科目名 地域居住論

解答例又は出題意図

問題 1

地域居住論が対象とする建築・都市計画領域で取り扱われる内容は、空間デザイン手法、計画思想、調査計画技術、制度、歴史など多岐にわたる。出願者がこれらの広範な分野に関する基礎的な知識を有するか否かを評価することを意図し、参考図書から満遍なく関連用語を抽出したうえで、そこから選択した内容に関して説明を求めた。

- ① 景観条例（脇田祥尚：みんなの都市計画，理工図書，pp. 69）
- ② 登録文化財制度（脇田祥尚：みんなの都市計画，理工図書，pp. 83）
- ③ 未接道（脇田祥尚：みんなの都市計画，理工図書，pp. 95）
- ④ 地域地区と用途地域（脇田祥尚：みんなの都市計画，理工図書，pp. 133, 146）
- ⑤ 区域区分（脇田祥尚：みんなの都市計画，理工図書，pp. 146）
- ⑥ 建ぺい率と容積率（脇田祥尚：みんなの都市計画，理工図書，pp. 147）
- ⑦ 都市計画道路（脇田祥尚：みんなの都市計画，理工図書，pp. 159）
- ⑧ 土地区画整理事業（脇田祥尚：みんなの都市計画，理工図書，pp. 163, 170）

問題 2

地域創造学専攻で重視される「地域特性への配慮」の重要性を建築・都市計画の潮流を踏まえた視点から論じる知識と理解力を有しているか、また具体的な地域の事例に関する関心と知識を有しているかを評価することを意図し、近代都市計画の課題と具体的な事例および自身の見解について説明を求めた。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1枚のうち 1枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	環境社会学		

【基礎】

問題1. 以下の6つの用語のうち、4つ選んで、それぞれの意味を説明してください。

- (1) 「社会的共通資本」について説明してください。
- (2) 「流域治水」について説明してください。
- (3) 「サステイナブルツーリズム」の概要を説明してください。
- (4) 「インタープリテーション」と「自然文化資源保全」の関係について説明してください。
- (5) 「受益圏」と「受苦圏」について説明してください。
- (6) 「環境制御システム論」について説明してください。

【専門】

問題2. 以下の3つのうち、1つ選んで、論じてください。

- (1) Elinor Ostrom が提示したコモンズの長期存立条件 (design principles) について説明した上で、その意義と限界を論じてください。
- (2) 「生活環境主義」と「近代技術主義」と「自然環境主義」について説明した上で、それぞれの意義と課題について具体的な事例に基づいて論じてください。
- (3) 生物多様性と人間活動 (人間社会における人の活動) の関係を説明し、両者のバランスを保つのに最適の方策について理論を用いて論じてください。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1枚のうち 1枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	一般・ <u>外国人</u> ・社会人
試験科目	環境社会学		

【基礎】

問題1. 以下の6つの用語のうち、4つ選んで、それぞれの意味を説明してください。

- (1) 「社会的共通資本」について説明してください。
- (2) 「流域治水」について説明してください。
- (3) 「サステナブルツーリズム」の概要を説明してください。
- (4) 「インタープリテーション」と「自然文化資源保全」の関係について説明してください。
- (5) 「受益圏」と「受苦圏」について説明してください。
- (6) 「環境制御システム論」について説明してください。

【専門】

問題2. 以下の3つのうち、1つ選んで、論じてください。

- (1) Elinor Ostrom が提示したコモンズの長期存立条件 (design principles) について説明した上で、その意義と限界を論じてください。
- (2) 「生活環境主義」と「近代技術主義」と「自然環境主義」について説明した上で、それぞれの意義と課題について具体的な事例に基づいて論じてください。
- (3) 生物多様性と人間活動(人間社会における人の活動)の関係を説明し、両者のバランスを保つのに最適の方策について理論を用いて論じてください。

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 環境社会学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

【基礎】

問 1. 以下の 6 つの用語のうち、4 つ選んで、それぞれの意味を説明してください。

(1) 「社会的共通資本」について説明してください：

<出題意図>

環境問題の解決に向けた基礎的な理論の理解を確認するために出題したものである。

- ・社会的共通資本という概念を説明できるか。
- ・市場的管理と政府による管理にそぐわない問題についての理解できているか。

(2) 「流域治水」について説明してください

<出題意図>

環境問題に関する総合的、政策的視点を有するか確認するために出題したものである。

- ・流域治水の考え方を説明できているか。

(3) 「サステイナブルツーリズム」の概要を説明してください

<出題意図>

環境と経済と地域の関係性を考える能力を確認するために出題したものである。

- ・サステイナブルツーリズムの概念が説明できるか。
- ・サステイナブルツーリズムが提唱された背景を説明できるか。

(4) 「インタープリテーション」と「自然文化資源保全」の関係について説明してください

<出題意図>

具体的な環境教育活動における手法と実践的な取り組みについての理解を確認するための出題したものである。

(5) 受益圏と受苦圏について説明してください

<出題意図>

環境社会学の基礎的な理論の理解を確認するために出題したものである。

- ・受益圏と受苦圏の違いを説明できるか。
- ・それぞれが持つ特徴から環境問題の解決に向けた論理展開を説明できるか。

(6) 環境制御システム論について説明してください

<出題意図>

環境社会学の基礎的な理論の理解を確認するために出題したものである。

- ・基礎理論である環境制御システム論について説明できるか、環境制御システム論による解決アプローチを説明できるかを確認する。

【専門】

問2. 以下の3つのうち、1つ選んで、論じてください。

(1) Elinor Ostrom が提示したコモンズの長期存立条件 (design principles) について説明した上で、その意義と限界を論じてください

<出題意図>

コモンズ論の理論の理解度を確認する。

- ・コモンズの長期存立条件について、8つすべてを適切に記述していること (適切に記述出来た条件の数に応じて部分点を配する)
- ・意義や限界について、論理的に記述されていること

(2) 生活環境主義と近代技術主義と自然環境主義について説明した上で、その意義と課題について具体的な事例に基づいて論じてください

<出題意図>

環境社会学理論を用いて、その理論に相応しい適切な事例を取り上げ、理論の有効性と限界につい

て、考える能力があることを確認する。また自らの見解が論理的に述べられているかも確認する。

(3) 生物多様性と人間活動（人間社会における人の活動）の関係を説明し、両者のバランスを保つのに最適の方策について理論を用いて論じてください

<出題意図>

生物多様性と人間活動の関係が理論的・論理的に論じる能力があるかを確認する。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	外国人
試験科目	資源保全コミュニケーション		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題 1 ビジタースタディとは何ですか。その方法や目的なども交えて述べてください。

Question 1 Please define visitor studies with its involved methods and purposes.

問題 2 Free-choice learning とは何ですか？その要素や典型的な場を挙げながら説明してください。

Question 2 Please explain what free-choice learning is, identifying its qualities and typical settings.

【専門】

問題 3 レクリエーションの場で来訪者体験に果たすインタープリテーションの役割を、肯定的及び否定的な影響に言及しながら論じてください。

Question 3 Please discuss how interpretation can contribute to creating visitor experiences in a recreation and leisure context, referring to both positive and negative outcomes.

問題 4 文化・自然資源保全の現状と課題を整理し、ツーリズムにおける保全策を論考してください。

Question 4 Please identify and overview issues in cultural and natural resource conservation and provide suggested approaches to contributing to the conservation in a tourism context.

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 外国人

科目名 資源保全コミュニケーション

解答例又は出題意図

問題1 ビジタースタディとは何ですか。その方法や目的なども交えて述べてください。

Question 1 Please define visitor studies with its involved methods and purposes.

基礎的な概念の理解を確認するために出題したものである。特に、以下を重視する。

- 1 ビジタースタディの定義や構成要素を述べることができる。
- 2 ビジタースタディで用いられる方法を上げることができる。

問題2 Free-choice learning とは何ですか？その要素や典型的な場を挙げながら説明してください。

Question 2 Please explain what free-choice learning is, identifying its qualities and typical settings.

基礎的な概念の理解を確認するために出題したものである。特に、以下を重視する。

- 1 Free-choice learning の概念や定義を述べるができる
- 2 その構成要素や重要なモデル・理論を説明できる

問題3 レクリエーションの場で来訪者体験に果たすインタープリテーションの役割を、肯定的及び否定的な影響に言及しながら論じてください。

Question 3 Please discuss how interpretation can contribute to creating visitor experiences in a recreation and leisure context, referring to both positive and negative outcomes.

来訪者体験とインタープリテーションの関係について、理解を示しながら論理展開できる能力を示すために出題したものである。論理的であること、理論や研究結果などを検討していることを確認する。

問題4 文化・自然資源保全の現状と課題を整理し、ツーリズムにおける保全策を論考してください。

Question 4 Please identify and overview issues in cultural and natural resource conservation and provide suggested approaches to contributing to the conservation in a tourism context.

資源保全の現状と課題に関する理解度を示すために出題したものである。特に、一般的な保全の枠組みを超えて、ツーリズムという状況・文脈の中で議論展開できる能力を示すものである。関連する理論や研究結果などを検討していることが期待される。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	生活指導論		

【基礎】

問題1 以下の(1)～(6)から2つの項目を選んで、その人名／用語について説明しなさい(答案用紙に選択番号を明記すること)。

- (1) 生きづらさ
- (2) キャリア教育
- (3) 「新時代の『日本的経営』」
- (4) デューイ (J. Dewey)
- (5) 学びの三位一体論
- (6) 無着成恭

【専門】

問題2 学校や授業で「真の対話」の実現を困難としている条件とは何か。また、それにもかかわらず、なぜ対話の世界へ学校や授業をつくりかえる必要があるのか。以上2点について論じなさい。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	生活指導論		

【基礎】

問題1 以下の(1)～(6)から2つの項目を選んで、その人名／用語について説明しなさい(答案用紙に選択番号を明記すること)。

- (1) 生きづらさ
- (2) キャリア教育
- (3) 「新時代の『日本的経営』」
- (4) デューイ (J. Dewey)
- (5) 学びの三位一体論
- (6) 無着成恭

【専門】

問題2 学校や授業で「真の対話」の実現を困難としている条件とは何か。また、それにもかかわらず、なぜ対話の世界へ学校や授業をつくりかえる必要があるのか。以上2点について論じなさい。

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 一般

科目名 生活指導論

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

【基礎】

問題 1 の出題意図は、課題テキストで使用されている代表的な人名・用語を正確に説明できているか確認するものである。

【専門】

問題 2 の出題意図は、課題テキストの内容を理解したうえで、大学院進学後に教育方法学に関する専門的課題に取り組むうえで求められる知識と論理的思考力を有しているかを確認するものである。

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 外国人

科目名 生活指導論

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

【基礎】

問題 1 の出題意図は、課題テキストで使用されている代表的な人名・用語を正確に説明できているか確認するものである。

【専門】

問題 2 の出題意図は、課題テキストの内容を理解したうえで、大学院進学後に教育方法学に関する専門的課題に取り組むうえで求められる知識と論理的思考力を有しているかを確認するものである。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	教育行政学		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題1 以下の言葉のうちから4つを選択して、意味を説明してください。

(答案用紙に選択番号を明記すること。)

- (1)教育の地方自治原則
- (2)教育課程制度
- (3)義務教育無償制
- (4)公教育の宗教的中立性
- (5)就学援助制度

【専門】

問題2 いわゆる「国民の教育権説」と「国家教育権説」それぞれの内容と課題を説明した上で、自説を自由に論じてください。

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 外国人留学生特別選抜

科目名 教育行政学

解答例又は出題意図

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題 1 以下の言葉のうちから 4 つを選択して、意味を説明してください。

（答案用紙に選択番号を明記すること。）

教育行政学（法制度）を研究する上で必須となる基礎的な概念の理解度を測る。

- (1) 教育の地方自治原則：戦前の中央集権教育行政を反省し、地方公共団体の教育行政は日本国憲法 92 条（地方自治の本旨）に基づく地方自治に拠るとの原則のこと。
- (2) 教育課程制度：教育課程とは学校教育の目的・目標を達成するために組織的・計画的に構成された学習プログラムを意味し、学校教育法、学校教育法施行規則によって制度化されている。
- (3) 義務教育無償制：日本国憲法 26 条 1 項の「国民の教育を受ける権利」を実効化させるために同条 2 項によって定められた義務教育にかかる費用を無償とする制度。無償の範囲については最高裁判例で授業料に限定されているが、法律によって教科書費用は無償化されている。
- (4) 公教育の宗教的中立性：教育を受ける権利を保障するために、国公立学校においては特定の宗教のための宗教教育、宗教的活動をしてはならないとする原則。教育基本法 15 条 2 項によって明文化されている。
- (5) 就学援助制度：学校教育法第 19 条に定められた、経済的理由により就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対し、市町村は必要な援助を与えなければならないとする制度。生活保護法第 6 条第 2 項の要保護者および準要保護者が対象となる。

【専門】

問題 2 いわゆる「国民の教育権説」と「国家教育権説」それぞれの内容と課題を説明した上で、自説を自由に論じてください。

：教育行政学、教育法学において古典的かつ現在でも論争が続く二つの学説についての理解度と、自説を論じさせることで、修士課程における研究遂行能力を測る。

採点のポイント

- ・両説の対立は教育課程編成権を軸とするものであること
- ・両説の対立は国民主導の教育／国家主導の教育にあること
- ・両説にはそれぞれ批判があること
- ・両説を両極としてその間に折衷的な案があること
- ・自説についての論理性、説得力

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(2枚のうち 1枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	一般・ 外国人 ・社会人
試験科目	地域芸術作編曲論		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題1

平成 29 年に告示された中学校学習指導要領の第 2 章第 5 節音楽の「各学年の目標及び内容」の項目には、[共通事項]として、歌唱・器楽・創作の表現と鑑賞の活動を通して、次の事項を指導するよう示されている。

- ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。
- イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。¹⁾

- (1) アの「音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ」するとは、どのような学びを理想としているのか、具体的な例をあげて説明してください。
- (2) イの「用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。」とはどのような理解が相応しいと考えられているのか、具体的な例をあげて説明してください。

【専門】

問題2

文部科学省初等中等教育局は、令和 5 年 7 月 4 日に「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」²⁾を公表した。このガイドラインは、「一律に禁止や義務づけを行う性質のものではない」とし、「学校関係者が現時点で生成 AI の活用の適否を判断する際の参考資料として暫定的にまとめ」たものだと位置付けている。

生成 AI を教育に利用するには、「事前に生成 AI の性質やメリット・デメリット、AI には自我や人格がないこと、生成 AI に全てを委ねるのではなく自己の判断や考えが重要であることを十分に理解させることや、発達の段階や子供の実態を踏まえ、そうした教育活動が可

能であるかどうかの見極めが重要」だと示されている。

また、生成 AI 活用が適切でないと考えられる例の一つとして、「詩や俳句の創作、音楽・美術等の表現・鑑賞など子供の感性や独創性を発揮させたい場面、初発の感想を求める場面などで最初から安易に使わせること」があげられている。

- (1) 以下に挙げる用語を全て使って、生成 AI の応答が生成される仕組みと、それによるメリットとデメリットについて説明してください。

【ビッグデータ，指示文（プロンプト），統計的，推測】

- (2) 平成 29 年告示の小学校学習指導要領第 2 章第 6 節音楽の「第 3 学年及び第 4 学年の目標及び内容」の項目に、以下の記載があることを踏まえ、子どもたちの創作活動において生成 AI 活用が適切でないと考えられる理由を説明してください。

音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 次の（ア）及び（イ）について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くこと。

（ア） いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴

（イ） 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴³⁾

引用・参考文献

- 1) 文部科学省『中学校学習指導要領』文部科学省. 2017, p.101
- 2) 文部科学省初等中等教育局「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」文部科学省公式サイト. 2023-7-4.
https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt_shuukyo02-000030823_003.pdf（参照 2024-1-15）.
- 3) 文部科学省『小学校学習指導要領』文部科学省. 2017, p.117

2024 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 外国人留学生特別選抜

科目名 地域芸術作編曲論

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

【作成例】

問題 1

音楽科授業において目指されている学びや理解の在り方について確認する問題である。

(1) 音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズなど）を知識としてのみならず、それによってどのような音楽的な効果が生まれるのか、感覚的にもその意味を捉えることができる学びが求められている。という事が具体的なケースを用いて説明ができていれば良い。

(2) 楽譜に記載される用語や記号の読み方や意味を知っているだけではなく、それにより音楽がどのように表現されるのか、また音楽をどう表現するために使われるものなのか、ということが、生徒の経験を通して理解されるべきだと考えられている。という意味の説明ができていれば良い。

問題 2

人工知能の導入を検討するにあたり、生成 AI の特徴と、現在、日本の音楽科教育の求める学びとの間にあるギャップ（解決すべき問題点）について、認識できているかを問う問題である。

(1) 生成 AI は、ビッグデータの中から、指示文（プロンプト）に従い、問いの次にくるべき文言等を統計的に推測した結果、答えを生み出すものである。人間が自身で蓄積できるデータ量をはるかに越えるデータを参照するため、自分が思いつかなかった答えが生み出される可能性があるほか、汎用性の高い文章の作成を短時間で行うことができる場所に文書作成の作業効率をあげる可能性がある。その反面、自我や人格があるわけではなく、回答に至るまでの学習過程の透明性や、回答自体の信頼性に関する懸念は解消されておらず、利用する者には回答の真偽を判断する能力が求められる。このような特徴が説明できていれば良い。

(2) 現行の音楽科授業における「創作（音楽づくり）」では、プロのような作品を作ることが目的なのではなく、作ろうとする過程において、それまでに体得した感覚と知覚とを結びつけていくことが活動の中心となる。よって、誤った AI の活用により、情操教育の機会が奪われる可能性がある、という危険性について理解できていれば良い。

2024年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1枚のうち 1枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	身体運動心理学		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎問題】

「運動パフォーマンス」、「パフォーマンス変数」、「運動能力」について、各用語の意味を具体的に説明するとともに、3つの関係性について詳しく説明しなさい(それぞれ具体例を挙げること)。

【専門問題】

運動学習・指導には言語的、視覚的、そして筋運動感覚的な指導がある。例えば、初心者に対して言語的な指導を行う際にはどのような方法を用いると効果的か。考えられる効果的な言語的指導の種類とその具体例について、言語の機能や関連する研究、ならびに運動学習のメカニズムに触れながら詳細に論じなさい。

2024 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 一般

科目名 身体運動心理学

解答例又は出題意図

出題意図

【基礎問題】

「運動パフォーマンス」、「パフォーマンス変数」、「運動能力」について、各用語の意味を具体的に説明するとともに、3つの関係性について詳しく説明しなさい（それぞれ具体例を挙げること）。

- ・課題テキストの内容を理解し、身体運動心理学の基礎的な知識を身につけているか確認する。
- ・テキストの該当箇所で解説されている代表的な理論や用語を適切に引用し、正確に説明できているか確認する。

【専門問題】

運動学習・指導には言語的、視覚的、そして筋運動感覚的な指導がある。例えば、初心者に対して言語的な指導を行う際にはどのような方法を用いると効果的か。考えられる効果的な言語的指導の種類とその具体例について、言語の機能や関連する研究、ならびに運動学習のメカニズムに触れながら詳細に論じなさい。

- ・課題テキストの内容を理解したうえで、大学院進学後に身体運動心理学に関する専門的課題に取り組むうえで求められる知識や論理的思考力を有しているか確認する。
- ・言語的な指導は多くの指導現場で行われるが、運動学習における言語の機能を十分に理解して使用する必要がある。ここでは、言語を用いて初心者の運動学習・指導を行う際の具体的方法とその理由について、運動心理学の専門的視点から論述する能力や思考・判断力について確認する。